

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	アニモ
住 所	千葉県柏市柏3-10-29 AK BLD.X I 2階
電話番号	047-186-6371

事業所番号	1212102741
管理者名	平野 恵子
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		30	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		○	40
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			
			点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点			

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	7	点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
1事例以上ある場合：10点			

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0	点
期限内に提出していない場合：-50点			

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10	点
1事例以上ある場合：10点			

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動									
多様な働き方									
支援力向上									
地域連携活動									
経営改善計画									
利用者の知識・能力向上									

合計	120	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	12,608.93	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,450	人	利用者の1日の平均労働時間数	3.65	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	15,485,628	円	利用者に支払った賃金総額	15,039,112	円	収支	446,516	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 「障がい者支援の基礎“支援者の虐待を防ぐ”」	
研修講師 山内 晋也（社会福祉法人武蔵野会リハビリテーション施設長）	
実施日・受講者数 4月25日～5人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 実践報告会	
実施日 10月21日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ 支援年数の違いによる利用者支援について	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業所の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 就労継続支援B型事業所 ノード・アップ	
実施日/参加者数 7月17日 1人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 シャベリバ in 流山	
主催者名 Rococo	
日時 4月22日	
内容 販路拡大のための名刺交換会、交流会	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年3月1日	
人事評価制度の対象職員数 3名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	
人事評価実施の案内を全事業所に掲示。同案内を全社メールにて通知。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

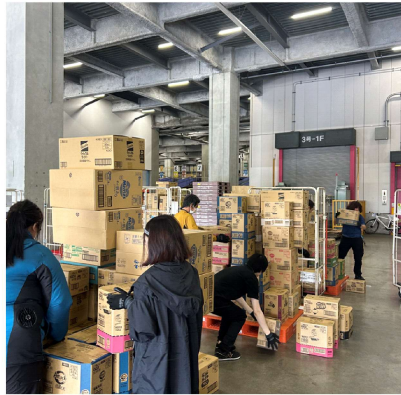
※経営改善計画の提出を求められていない。

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アニモ
住所	千葉県柏市柏三丁目10番29号AK BLD.X 2階
電話番号	047-186-6371

事業所番号	1212102741
管理者名	北澤景子
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
〈活動内容〉 活動場所： SBSロジコム野田物流センター 実施日程： 2024年5月15日 実施した生産活動・施設外就労の概要： 実施した生産活動・企業先の概要 曜日・火曜～土曜(週5日) 時間・8:00～12:15 参加利用者数・7人	〈活動の様子〉  洗剤などの日用品の入った段ボールを各店舗ごとに仕分けしている様子。  お米の仕分けが終わり、出荷する前段階。
〈目的〉 ・地域の一般企業で障がい者の就労の場を開拓。 ・一般企業での就労を通して一般常識、礼儀、マナーの習得。 ・物流センターでの人員不足解消をし企業の障がい者雇用率を達成することができる。 ・社会復帰のため一般常識、礼儀、マナー習得の場になり一般企業での就労で精神安定を図れる。	
〈成果〉 ・一般企業での就労を通して一般常識、礼儀を学ぶことができ、週5勤務が継続できる利用者さんも収入が増え、精神の安定を図ることができた。 ・前職で朝起きるのが苦手や、遅刻や、週5勤務することができないなど働くことに苦手意識を持っていた利用者さんが、個別の支援により成功体験を重ねて就労意欲が増した。 ・消費者へ届く重要な物流の作業に関われることを説明し、ものを持ち上げる体の使い方など伝えていくことで、作業習得を実感し、利用者さんが一般就労や自分の目標のために訓練できるようにしていく。	

連携先の企業等の意見または評価			
・利用者様が個々に作業を覚え、ペースも上がっているので作業時間内にお米の仕分け作業が終わっていて助かっている。徐々に別の作業も覚えていき全ての作業がスムーズにいけると良い。また破損もなくなってきていて良い。 支援員とSBSスタッフのコミュニケーションを増やしていき利用者さんにもっと分かりやすく伝わるようにする。何かトラブルがあった際でも報連相をしっかりしていき迅速に対応ができるようにしていく。			
連携先企業名	SBSロジコム野田物流センター	担当者名	津田 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	アニモ	事業所番号	1212102741
住所	千葉県柏市柏3-10-29 AK BLD.X I	管理者名	平野 恵子
電話番号	047-186-6371	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
〈活動内容〉 活動場所： アニモ 事業所内 実施日程： 2024年11月4日 実施した取り組みの概要： ・新たな施設外就労先へ行くときの心構え ・感染対策研修 7名	〈活動の様子〉  ビジネスマナーの基本5原則の資料をお配りし、具体的に内容を説明した。 質疑応答も行い、実際に置き換えての内容も説明した。  新しい施設外就労先の作業内容や、作業場所などの資料をお配りし、これから行っていくことの不安解消と、意識付けを行った。 感染対策については動画を放映し、手洗いの大切さや、感染経路の可能性について学んだ。
〈目的〉 ・新たな施設外就労に行く前にビジネスマナーの取得と、心構え。 ・気温の変化に基づき、体調管理や衛生管理の徹底。	
〈成果〉 ・挨拶などの意識が変わった。 ・利用者どうし声掛けで、連携していく意識が変わった。 ・衛生管理に対する知識が高まり、予防の意識が上がった。 ・挨拶の声のトーンが上がった。 ・マスク着用や換気などの予防する方が増えた。 ・自らの手洗い実施率が上がった。 ・活動後は意識の高まりを感じるが、だんだん意識が低下していくので、定期的な開催が必要と感じた。 ・寒暖差が激しく、体調不良の方が多く出てしまった。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価			
・ しっかり挨拶ができています。 ・ 現場の職員とも関係性は良好に感じる。 ・ 適宜水分補給などは行って、体調に気を付けてほしい。			
連携先企業名	SBSロジコム野田瀬戸物流センター	担当者名	水沼 様
利用者からの意見・評価			
・ 自分でもできること（挨拶はしっかりしよう）と心掛けるようになった。 ・ 手洗いをしっかりするようになった。 ・ 換気を意識した。 ・ 言葉遣いを仕事中は意識するようになった。			